

## 運営会議の報告 (平成 30 年 7 月～10 月)

### 1 開催日

平成 30 年 7 月 26 日、8 月 23 日、9 月 28 日、10 月 26 日

### 2 実施内容

各部会・連絡会の報告、定例会の振り返り（7 月）、施設長会議について、医療的ケア児等の支援に関する協議の場についての検討（8、9 月）、日中活動資源調査結果の検討（9 月）定例会の資料・協議会の運営方法の検討（10 月）を行った。

#### (1) 施設長会議について

施設長会議は、日中活動資源調査結果の報告を行うとともに施設長に対する研修の機会として実施してきたが、参加者が減少傾向にあり、開催の必要性について検討を行った。日中活動資源調査結果の報告については、資源が充足されてきたこともあり会議を開催して報告を行う必要性は薄くなっていると考えられる。しかしながら、事業所運営に影響を持つ施設長等に対して障がい理解等の啓発を継続的に実施する必要があるため、周知方法等を検討することとし、今後も施設長会議は継続して実施する。（今年度は、「意思決定支援について」の講演を行う予定）

#### (2) 日中活動資源調査の結果について

日中活動資源調査は結果を一覧にまとめ、特別支援学校の生徒の進路希望調査も含めて分析を行った。結果については、協力事業所に送付するとともに、ホームページへの掲載を行う。

#### (3) 子ども部会について

子ども部会は、ガイドブックの作成、春育フェア、事業所間交流会の実施など適切な情報提供及び情報発信を行うとともに、適切な療育の実施につなげる活動を実施してきた。これらの活動については、継続的な活動が望まれており、取り組むべき課題に対して一定の成果が報告されている。

そのため、子ども部会としては、7 月をもって終結することとし、今度は、これらの活動を事業所間の自主的な運営組織により実施できるよう、サポートを行っていく。

(4) 医療的ケア児の支援の連携に関する協議の場について

医療的ケア児の支援について関係機関が連携を図るための協議の場を平成 30 年度末までに設置することとなっている。当協議会には、医師、保健所、学校関係者、当事者団体、相談支援事業所が参加していることから、平成 30 年度は、当協議会を協議の場とし、第 2 回定例会では医療的ケアについて理解を深めるとともに、医療的ケア児の生活の把握を行い、第 3 回定例会では関係機関が連携するための検討を進めていくこととする。